



---

政治専攻「演習1・2」

第2期第2次募集

---



## 【目次】

1. 募集について
2. 募集に関する注意事項
3. 選考方法
4. ゼミ内容
  - 上神 貴佳 先生            5 頁
  - 小原 薫 先生            6 頁
  - 坂本 一登 先生           7 頁
  - 佐藤 俊輔 先生           8 頁
  - 羅 芝賢 先生            9 頁
  - 宮下 大志 先生           10 頁

## 1. 募集について

### 【第2期募集スケジュール】

第 1 次 募 集	
終了しました。	

第 2 次 募 集	
応 募 期 間	2022年1月8日（土）12時～1月14日（金）12時50分
選 考 期 間	2022年1月17日（月）～1月22日（土）
合 否 発 表	2022年1月26日（水）20時予定 / K-SMAPYIIにて

### 【応募方法】

#### K-SMAPYII より

※ログイン後、上部バナー「アンケート」より応募してください。

※K-SMAPYIIからの応募がなく面接を受けるまたは課題提出だけをしているケースがありましたので必ず K-SMAPYIIからの応募も行ってください。応募がない場合は無効になります。

[【目次に戻る】](#)

## 2. 募集に関する注意事項

**※ 必ず、別紙「政治専攻「演習」第2期第2次募集について(現1・2年生向け)」および「政治専攻「演習Ⅱ」第2期第2次募集について(現3年生向け)」もよく読んで応募してください。**

- (ア) 応募期間に必ず応募してください。応募期間外の応募は認められません。
- (イ) K-SMAPYⅡからの応募がなく、面接を受ける、または課題の提出だけをしているケースがありましたので、必ずK-SMAPYⅡから応募も行ってください。
- (ウ) 担当教員によって選考方法（面接・レポート・テストなど）は異なります。「選考方法」で必ず内容を確認のうえ、応募してください。
- (エ) 毎年ありますが、提出期限を超えたりレポートの提出は認められませんし、面接時間への遅刻・面接の欠席に関する取り次ぎは教務課では行いません。
- (オ) ゼミに合格後、他のゼミへの変更はできません。
- (カ) 各教員の連絡先は個人情報のため、お教えできません。
- (キ) ゼミ応募に関する問い合わせ先は以下のとおりです。

### 【問い合わせ先】

教務課	①9時～12時50分 ②13時50分～20時30分
法学資料室（若木タワー7階）	①9時～17時

※月曜日～金曜日で受け付けます。

※日曜日・祝日は学年暦に準じ、授業実施日に限り開室いたします。

[【目次に戻る】](#)

### 3. 選考方法

希望する教員の選考方法を確認してください。

例年、レポートの提出期限や面接日時を間違えているケースがありますので、ご注意ください。

教員名	募集対象	選考方法	提出方法・レポート締切		レポート内容	備考
			面接日時		面接方法	
稲垣 浩	募集なし					
上神 貴佳	・現2年生 ・現在当該ゼミ履修中の現3年生	レポート	提出方法	アンケート画面で回答	本演習を志望する理由 (メールアドレスを記入すること)	(書式)自由 (字数)1,000字
			締切日時	1月14日(金)12:50		
		面接	1月17日(月)17:00～		オンラインにて	
小原 薫	・現在当該ゼミ履修中の現3年生	選考免除（募集のみ）				
菊田 真司	募集なし					
坂本 一登	・現2年生	レポート	提出方法	メール送付 kazutos@ kokugakuin.ac.jp	志望理由と最近興味をもった政治的事件	(書式)自由 (字数)1,000字程度
			締切日時	1月15日(土)23:59		
		面接	1月17日(月)16:15～17:00		オンラインにて	

教員名	募集対象	選考方法	提出方法・レポート締切		レポート内容	備考
			面接日時		面接方法	
佐藤 俊輔	・現2年生 ・現在当該ゼミ履修中の現3年生	レポート	提出方法	メール送付 s.sato@kokugakuin.ac.jp	①演習の志望動機 ②国際関係の中で関心のある事柄について	(書式)横書き・A4 (Wordファイル) (字数)①、②を合わせ1,000字以上
			締切日時	1月14日(金)12:50		
芝崎 祐典	募集なし					
羅 芝賢	・現2年生のみ	レポート	提出方法	メール送付 j-na@kokugakuin.ac.jp	①ショシャナ・ズボフ『監視資本主義』の第1章を読んで、著者の主張に対する自分の意見を述べよ。 ※課題文献あり ②ゼミの志望理由	(書式)自由 (字数)800～1,000字
			締切日時	1月14日(金)12:50		
藤嶋 亮	募集なし					
宮下 大志	・現2年生	レポート	提出方法	メール送付 miyashita@kokugakuin.ac.jp	現在の日本の政治をどう評価するか	(書式)自由 (ただしWordファイルかPagesファイルでメール添付提出) (字数)1,200字程度
			締切日時	1月16日(日)19:00		
		面接	1月21日(金)14:40	対面にて実施 (0810研究室集合)		

[【目次に戻る】](#)

## 4. ゼミ内容

[【目次に戻る】](#)

教員名	上神 貴佳
演習テーマ	歴史としての平成と日本政治
演習内容	<p>平成も約30年をもって、令和という新たな時代を迎えることになった。歴史としての平成一をどのようにとらえればよいのだろうか。とくに昭和との関連で平成の政治や経済、社会の課題を理解することを試みつつ、次の時代を展望してみたい。</p> <p>近年、平成一を振り返るさまざまな書籍が出版されている。本演習の教科書としては、小熊編（2019年）などを用いることにする。教科書の読破は、受講生に求められる最低限の課題である。複数のテキストを読み比べつつ、本演習のテーマ（歴史としての平成と日本政治）について、自分なりの理解を得られるように、各自が学習を進めてもらいたい。</p> <p>本演習の進め方については、グループに分かれて、報告班と質問班を交互に担当することを想定している。また、いずれの担当になるかによらず、毎回、参加者全員がレジュメを提出する。演習の最後には、各自が本演習のテーマに沿って、レポートを作成して提出してもらおう。</p>
教科書	小熊英二（編）『平成史【完全版】』河出書房新社，2019年。
参考文献	薬師寺克行『現代日本政治史』有斐閣，2014年。 佐藤優・片山杜秀『平成史』小学館，2018年。 など
備考	

[【目次に戻る】](#)

教員名	小原 薫
演習テーマ	現代日本の政治と思想を考える
演習内容	コロナ禍によって、今まで普通とされていたことができなくなり、生活習慣からありとあらゆるところまで変化が生じた。そして、ますます、経済構造においては格差が進行している。前期は、この日本の現状について、新書を中心として購読・討論を行う。後期は、参加者が自分の問題関心に基づいて調査・研究し、最終的にゼミ論文の完成を目指していく。積極的に討論に参加する意欲的な学生の参加を歓迎する。
教科書	適宜指示する。
参考文献	
備考	ゼミは、火曜日5限に実施。



[【目次に戻る】](#)

教員名	坂本 一登
演習テーマ	国際関係と昭和前期の日本
演習内容	<p>来年度のテーマは、「国際関係と昭和前期の日本」である。昭和戦前期は、戦争への道を歩みはじめた時代であるが、その時日本はどのような国際関係の中にあったのだろうか。そして、当時の国際関係と日本の政治はどのように関係し、戦争への道とどのように関連していたのだろうか。通常、昭和期の日本は、軍部の暴走として描かれ、理解されていることが多い。</p> <p>しかし戦争は一国の事情だけで起きるわけではない。昭和史の転機となった満州事件を中心に、視野を広げ、国際連盟を軸とした国際関係のなかで昭和史を考え直してみたい。国内からだけみる世界とは、異なった景色が広がってくるかもしれない。</p> <p>なお、演習は、前期は文献講読、後期はゼミ・ペーパー（4000字程度）の作成になります。</p>
教科書	クリストファー・ソーン：満州事変とは何だったのかー国際連盟と外交政策の限界 草思社 翻訳 1994 小林道彦：近代日本と軍部ー1868-1945 講談社現代新書
参考文献	山本七平：一下級将校の見た帝国陸軍
備考	演習希望者で、指定の時間が不都合な場合は、メールで連絡ください。調整します。 (kazutos@kokugakujin.ac.jp)

[【目次に戻る】](#)

<b>教員名</b>	<b>佐藤 俊輔</b>
<b>演習テーマ</b>	自由主義的な国際秩序とその行方
<b>演習内容</b>	<p>本演習は、国際政治の現在に関して学びを深めていくため、大きく分けて以下の3つを行うことを予定しています。</p> <p>①共通テーマ「自由主義的な国際秩序とその行方」に関する指定文献の輪読・討論（通年） ②数名ずつに分かれ、共同で決定した主題につきグループでの研究・発表（前期） ③個々人の関心に基づく演習論文の執筆（後期）</p> <p>演習の主要な主題となるのは「自由主義的な国際秩序とその行方」であり、それに関わる様々な文献を輪読し、議論していくことです。近年、英国のEU離脱や米国におけるトランプ政権の成立を契機として、一方では先進国内部におけるポピュリズムの高まりや格差の問題が、他方では国際的な権威主義体制の高まりが指摘されるようになりました。とりわけ米中の対立が様々な側面で表れるに従い、従来アメリカを中心に形成されてきた「自由主義的な国際秩序」が揺らいでいるのではという点が国際政治における大きな論争の焦点となっています。本年度の演習では、様々なテキスト、参考書籍、論文等を渉猟する形でその論争の内容を吟味し、全員で議論を行うことで、現在の国際政治についての知見を広め、分析を深めていくことを目指します。（下記の教科書、参考書は現時点での予定であり、開講時にはその時点までの議論の状況や参加者の人数、参加者の関心、負担等を考慮して変更を加えることがあります。）</p> <p>これと並行する形で前期にはグループでの研究調査・報告を行い、後期には個々人の関心に応じて演習論文の執筆に向けた主題決定、調査および途中報告を行い、全員で議論を行っていきます。演習論文は、共通のテーマに限らず、広く国際関係に関する事柄のなかから自由に主題を設定して頂いて、演習の終了時まで論文を執筆し、提出して頂くことが目標となります。</p>
<b>教科書</b>	納家政嗣・上智大学国際関係研究所編『自由主義的国際秩序は崩壊するのか—危機の原因と再生の条件』勁草書房、2021年（予定）
<b>参考文献</b>	佐橋亮『米中対立—アメリカの戦略転換と分断される世界（中公新書 2650）』中央公論新社、2021年 イワン・クラステフ『模倣の罠—自由主義の没落』中央公論新社、2021年 ブランコ・ミラノヴィッチ『資本主義だけ残った—世界を制するシステムの未来』みすず書房、2021年等
<b>備考</b>	共通のテーマに関する上記の参考文献等は予定であり、変更することがあります。また、書籍だけでなく様々な論文を抜き出して配布する予定です。

[【目次に戻る】](#)

教員名	羅 芝賢
演習テーマ	AI と行政
演習内容	<p>AI が人間の意思決定を助けるようになると、行政の現場はどのように変化していくのでしょうか。この問題に関しては、これまでもさまざまな議論が繰り広げられてきました。その中には、単純作業を AI に任せて、職員は今までよりもクリエイティブな仕事に集中できるようになるという意見があれば、AI が人間の仕事を奪ってしまうだろうという意見もあります。あるいは、保育園や介護サービスなどに対する人々の需要を予測し、より迅速でかつきめ細かなサービスを提供できるようになるという期待も寄せられています。しかしその一方で、AI が判断の根拠とするビッグデータは現実社会の歪みをそのまま反映しているために、それを利用することで女性差別や経済的格差といった問題をさらに助長してしまう恐れがあるという指摘も浮上しています。</p> <p>この授業では、こうしたさまざまな議論が展開されている中で、いかなる要因が行政における AI の導入を進めたり、妨げたりしているのか、また、AI が行政職員と市民をより自由な状態へと導く可能性はあるのかといった問題について検討します。</p>
教科書	ショシャナ・ズボフ『監視資本主義（野中香方子訳）』（2021年、東洋経済新報社） ※教科書は毎年変わります。
参考文献	適宜紹介します。
備考	前期は、報告の仕方、コメントの仕方、参考資料検索の仕方などを身につけることを目標とします。後期は、輪読を完了した後、研究デザインの方法を学び、研究報告会を行います。また、資料収集の仕方を学ぶため、国会図書館や公文書館への「遠足」も予定しています。

[【目次に戻る】](#)

教員名	宮下 大志
演習テーマ	「日本の政治、日本の民主主義、そして日本の未来、どうしよう？」
演習内容	<p>日本の政治、日本の民主主義、そしてこれからの日本のあり方について論じてみたいと思います。</p> <p>日本の政治と民主主義は、かつては「55年体制」のもと、かわりばえのしない、そしてあまりよくないイメージで見られてきました。しかしみなさんの生まれる10年ほど前、その「55年体制」が崩れ、また日本の政治状況の変化もあって、55年体制の時代とは違う要素も出てくるようになりました。一応、政権交代も起こりましたが、その後「〇〇一強」という状況になって、しかしその後まさに直近の情勢ではまた変化の兆しも見せています。</p> <p>そして社会の状況としては、格差問題、女性の権利の問題などをどうするべきか、問いかけられている状況ではないかと思います。</p> <p>そこで来年度のゼミでは、この日本の政治・民主主義について、どう評価すべきか、今後はどうなるのが望ましいかなどを論じてゆきたいと思います。</p> <p>そしてそのために、過去の日本の政治を検討したり、現在の問題点を考えたり、今後のあるべき姿を議論したり、ということを見なさんとやってゆく予定です。</p> <p>そしてその際には、欧米との比較や理論的考察も盛り込めたら、とも考えています。</p> <p>なお、応募者は、「現在の日本の政治をどう評価するか」というテーマで、自分なりの今の日本の政治についての評価を記したレポートを期日までにメール添付で提出してください。</p> <p>現ゼミ生は選考を免除します。</p>
教科書	開講時に指定します
参考文献	必要に応じて紹介します
備考	<p>面接は、対面での面接としたいと思います。個別面接ですので、全体としては1/21(金)の14:40開始ですが、その時間に集合していただいた上で、個人個人の面接時刻を指定します。</p> <p>面接の日時にどうしても都合がつかない、あるいは開始時間を配慮してほしい（「4限に授業があるのでその前に設定してほしい」など）、さらには対面の面接は避けたいといった場合は、レポート提出の際のメールで知らせてください。メールでのやりとりで相談させていただきます。</p> <p>なお、面接は一人15分ほどを予定しています。ですので、応募者が例年になく多くならない限り、当日の対面での面接は遅くとも16時には最後の面接を終えられるかと思っています。</p>